

## 1 この科目的構成について

教 科	理 科	科 目	探求化学	単 位	2 単位
対象コース	カレッジコース	対象クラス	3年4組（文系）		
使用教科書	数研出版 新編 化学基礎				
使用副教材	数研出版 三訂版 リード Light ノート 化学基礎				

## 2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

学 習 目 標	—この科目を学習して何を身に付けてほしいのか—
	化学は物質について学ぶ学問である。私たちの生きている世界は物質によって構成されている。これまで人類は物質の性質についての知見を広げ、その知識を生かして文明を発展させてきた。また、物質の性質に対しての考慮の不足から人類そのものの命を脅かす問題が生じてきたことも事実である。これから、私たちがより豊かに、より長く発展していくためには物質について、より広く深い知識を身に付けていくことが不可欠である。2年生で学んだ基礎的な物質の性質をもとに、日常生活に潜む化学をより深く知って欲しい。
学 習 内 容	—この科目で学習する大まかな内容—
• 物質の変化 • 化学基礎総復習演習	第一章 物質の構成 第二章 物質の構成粒子 第三章 粒子の結合 第四章 物質量と化学反応式 第五章 酸と塩基 第六章 酸化と還元
学 習 方 法	—この科目を学校と家庭でどのように学習すればいいのか—
(1) 学校	教科書を中心に基本的な問題演習を通して、現象についての見方を説明し、実際に問題解法に結びつける作業を行う。 覚え方・解法のテクニックの提示。また、リード Light ノートを題材に問題演習を行う。小テストによる定着の確認。
(2) 家庭	予習 昨年使用した教科書・数研出版化学基礎準拠ノートに目を通す。 リード Light ノートを中心に内容の総復習を行う。 復習としてその日やってつまずいた問題に再度挑戦する。

## 3 この科目の評価方法について

評 価 方 法	—何を使って評価するのか—
	1. 年間4回実施される定期考査 2. 長期休みに配布する宿題の学習状況 3. 授業時に行う小テストの取り組み 4. ノートの整理状況。 5. 実験を行った際のレポートの提出状況とその内容。

評価における定期考査の割合

60 %

## 4 この科目の評価の観点について

評 価 の 観 点	—この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか—
(1) 関心・意欲・態度	授業における板書、演習問題への取り組み、発言が積極的であるか。課題の提出状況とその内容が適当であるか。
(2) 思考・判断	各分野における重要事項を体系的に位置づけ、様々な現象・実験事実と結びつけ、その仕組みを総合的に考察できるか。
(3) 技能・表現	基本的な実験器具の取り扱いができるか。実験、観察、授業を通じて考察されることを説明できるか。
(4) 知識・理解	各分野における重要事項を正しく理解し、一般的な法則性と、その例外を区別できるか

## 5

この科目的学習計画について

年間学習計画				一この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか	重視する評価の観点			
期	月	学習の項目	学習の内容		関	思	技	知
1 期	4	第3章 酸化還元反応 4 酸化還元反応の利用 —電池・金属の製錬—	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近にある電池の構造や反応のしくみに興味を示す。</li> <li>金属の精錬は酸化還元反応を利用したものであることに気づく。</li> <li>簡単な電池をつくることができる。</li> <li>金属の精錬の方法について理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●</li> <li>●</li> <li>●</li> <li>●</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●</li> <li>●</li> <li>●</li> <li>●</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●</li> <li>●</li> <li>●</li> <li>●</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●</li> <li>●</li> <li>●</li> <li>●</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●</li> <li>●</li> <li>●</li> <li>●</li> </ul>
	5	化学基礎 総復習演習 (リード Light ノート化学基礎) 第一章 物質の構成 第二章 物質の構成粒子	<ul style="list-style-type: none"> <li>まとめ、プロセスを確認後、ドリル、基本例題、基本問題、重要な演習を解く。</li> </ul>					
	6	第一回考査	ここまで学習した内容について考査を行う					
	6	第三章 粒子の結合 第四章 物質量と化学反応式	<ul style="list-style-type: none"> <li>まとめ、プロセスを確認後、ドリル、基本例題、基本問題、重要な演習を解く。</li> </ul>					
	7	第二回考査	ここまで学習した内容について考査を行う					
	8	第五章 酸と塩基 第六章 酸化と還元	<ul style="list-style-type: none"> <li>まとめ、プロセスを確認後、ドリル、基本例題、基本問題、重要な演習を解く。</li> </ul>					
	9	第三回考査	ここまで学習した内容について考査を行う					
	10	センター対策演習	大学入試センター試験にむけてマーク問題演習を行う					
	11	第四回考査	ここまで学習した内容について考査を行う					
	12	センター対策演習	大学入試センター試験にむけてマーク問題演習を行う					
	1							
	2							
	3							





